

施策評価調書（基本目標別）

<p>基本目標</p>	<p><b>1 「強靱」な水道の構築</b></p>
<p>施策の趣旨</p>	<p><b>主要施策（１）～（３）</b></p> <p>主要施策（１） 安定給水の確保 水道水を将来にわたってお客様に安定的にお届けすることが水道事業者の最大の使命です。そのため、必要な水源の確保を図るとともに、老朽化の進む浄・給水場の施設及び設備並びに管路について、適切な維持管理を行いながら、計画的な更新・整備を進めていきます。</p> <p>主要施策（２） 耐震化の推進 平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では、地盤の弱い湾岸埋立地域で発生した液状化によって管路が破損し、大規模な断水が生じました。この時の教訓を踏まえ、近い将来に発生が懸念される地震等に備えて、浄・給水場施設や水道管の耐震化を更に進めます。特に湾岸埋立地域の管路や破損した場合に地域への影響が大きい管路の耐震化を進めます。</p> <p>主要施策（３） 危機管理体制の充実 県営水道では地震や事故等に強い水道施設の整備を進めているところですが、災害、テロ等違法行為などによって発生する様々な状況にも十分対応できるよう危機管理体制の充実に努めていかなくてはなりません。そのため、実践的で速効性のある応急体制や、各浄・給水場等の危機管理対策を更に充実・強化するとともに、給水区域内 11 市や近隣の水道用水供給事業者との連携強化を図ります。</p>

<p>評価結果の概要</p>	<p>基本目標 1 においては、3 つの主要施策の下に 9 の主な取組を位置付けております。各施策及び取組について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、28 年度については、</p> <p>「達成状況」に係る評価は、3 つの取組を「a」評価（達成している）、5 つの取組を「b」評価（概ね達成している）としました。</p> <p>「成果」に係る評価は、主要施策（3）については「a」評価（成果が出ている）、主要施策（1）（2）については「b」評価（概ね成果が出ている）としました。</p> <p>主要施策（1）の主な取組「水源の安定化」は、国の実施する事業に対する負担金の支払いであることから、評価の対象からは除外しています。</p>
----------------	--

<p>主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果</p>	
<p>（１） 安定給水の確保</p>	<p>「成果」 b</p>
<p>主な取組 水源の安定化 浄・給水場施設の更新・整備 浄・給水場設備の更新・整備 管路の更新・整備</p>	<p>「達成状況」  b a b</p>
<p>（２） 耐震化の推進</p>	<p>「成果」 b</p>
<p>主な取組 浄・給水場施設の耐震化の推進 管路の耐震化の推進</p>	<p>「達成状況」 b b</p>

(3) 危機管理体制の充実	「成果」 a
-----	
主な取組	「達成状況」
緊急時に備えた体制の充実	b
給水区域内11市等関係団体との連携強化	a
浄水施設の危機管理対策の強化	a

外部評価会議委員の評価	「達成状況、成果」についての内部評価の妥当性	適切に評価されているため、「A：妥当である」と判断します。
	A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人	目標の達成に向け引き続き努力いただくとともに、指標と目標値の水準の見直しをご検討いただくことを前提として、「A：妥当である」と評価します。
外部評価会議委員の主な意見等及び水道局の回答	<p>基本目標1の各施策の内部評価等に関して、評価委員から出された意見等及び水道局からの回答は以下のとおりです。</p> <p><b>主要施策(1) 安定給水の確保</b> <b>施策の成果</b> 成果目標の「管路の事故割合：1.6(件/100km)以下」という数値はどのように設定したのか。</p> <p>(水道局回答) 今後、水道管の老朽化が進行し、漏水事故等のリスクが高まっていくものと思われるため、前中期経営計画で定めた成果目標1.6(件/100km)を上回ることがないように設定しました。なお、成果目標値は平成21年度実績から算定しています。</p> <p><b>主要施策(3) 危機管理体制の充実</b> <b>取組 緊急時に備えた体制の充実</b> 訓練の実施回数については、28年度の目標を達成しているが、質的なチェックが必要に感じられる。訓練のマンネリ化、形骸化が生じないよう、防災の専門家を参画させるなど、新しい視点での取組も今後の計画に取り入れてみてはどうか。</p> <p>(水道局回答) 当局では震災等の非常時に適切に対応できるよう、各種の実践的な訓練を、内容を再確認しながら実施しています。今後も多種多様な訓練を行い、緊急時に備えた体制づくりに努めてまいります。</p> <p><b>施策の成果</b> 「非常時職員参集管理システム応答率」については、施策の成果目標を達成しているので、目標の質を高めることを検討してはどうか。案としては、応答までの時間短縮が考えられると思う。</p> <p>(水道局回答) 通信等の問題で応答率は100%にならないことも想定されるため、応答までの時間短縮が今後の検討課題になると考えています。</p>	